

カッター研修【小・中学校】

■ 概要

カッターボートと呼ばれる船舶を海上で漕ぐことにより、仲間と力をあわせることの大切さを学びます。また、自力で帰港することにより達成感を味わうことができます。

■ ねらい

- ◆自分たちの力で帰港し、達成感を得る。
- ◆グループの在り方について考える。
- ◆グループに対する個人の関わり方について考える。
- ◆リーダーシップ、コミュニケーション、協力について考える。

■ 準備物

	準備物	必要数
1	●乗艇名簿	艇数分
2	●カッター待機者名簿	必要な場合のみ
3	●カッター研修に関する調査	1部
4	●水筒	人数分
5	●帽子	人数分
6	○タオル	人数分

※●はHPよりダウンロードしてください。

● 必要なもの

○ あると良いもの

■ 服装

運動ができる服装(レインコート不可)

運動靴(サンダル・クロックス・マリンシューズ不可)

■ 指導者、人数、費用など

対象	小学校5年生～中学校3年生
指導	職員による指導
出艇基準	・1艇につき指導者2名以上乗艇し、18名以上24名以下 ・最大艇数は4艇
費用	1艇: 11,000円 (例)4艇の場合 4艇×11,000円=44,000円
実施時間	3時間
実施場所	レクチャー: 艇庫 実 習: 海上 ふりかえり: 艇庫前
時期	3月～11月



事前

- 乗艇名簿をカッター実施前日までに提出する。
- 名簿に変更が生じた場合は、実施までに速やかに連絡する。

展開

	午前	午後	活動	研修生の動き	団体指導者の動き	職員の動き
導入 (60分)	8:40	13:00	交流の家指導員と団体指導者による事前打合せ	艇庫前へ移動	団体責任者(管理職) 乗艇指導者は艇庫集合	説明
	9:00	13:20	全体レクチャー	レクチャーを受け、乗艇から上陸までの流れを把握する。		説明
	9:40	14:00	岸壁へ移動、乗艇	岸壁へ移動、乗艇		指示
活動中 (90分)	10:00	14:20	出港	海上へ出る	必要に応じて艇のモチベーションを高めるよう声かけをする。	指導
			洋上研修	カッターボートを漕艇する		
			入港	自力で岸壁まで漕艇する		
			上陸、艇庫へ移動	上陸、艇庫へ移動		
まとめ (20分)	11:40	16:00	振り返り	振り返りを行う		研修のまとめや発表に対するコメント等
	12:00	16:20				

※詳しくは「カッター研修の流れ」をご覧ください。(HPよりダウンロードできます)
時間は目安です。艇数や海の状況により変わります。

留意点

- 交流の家責任者がカッター研修が実施できる条件であると総合的に判断する場合、**最終の実施の意思決定は研修団体の責任者に行っていただきますので、責任者は必ず事前打合せにご参加ください。**
- 櫂(オール)を操作する際に、指を挟まないよう気を付ける。
- 舷(船縁)に手をかけないこと。
- カッターボートへの乗り降りははしごを使用するが、はしごの昇降は、陸側を向いて行う。
- A艇員には、B艇員よりも力が強い者を配置する。
- 適切な休憩が必要であるが、長い休憩は船酔いを引き起こすため注意する。
- 団体指導者は必要に応じて研修生へ声掛けを行う。

カッターの舵操作については、
動画で確認することができます
「わかる！カッターの舵操作」
<https://bit.ly/30hLTvm>



荒天時の対応

- 原則として雨天時は実施不可能
- 平均風速が5m/sを超えたときは実施不可能
- 雷鳴が聞こえるときは実施不可能
- 海の状況によっては晴天時でも実施できないことがある。
(強風・波浪注意報の発令、白波の発生、WBGTが31℃以上等)

中止時の対応

- 中止の決定は、交流の家の責任者がさまざまな情報を総合的に判断して行います。**
- 中止時の代替プログラムを考えておいてください。